

平成31年度農林水産関係予算のポイント(概要)

	平成30年度	平成31年度	前年度比
農林水産関係予算	2兆3,021億円	2兆3,108億円	+86億円 (+0.4%)

○ 農林水産業の生産性向上による成長産業化を実現するとともに、食料の安定供給の確保などの機能を発揮するため、①強い農業のための基盤づくりと担い手への農地集積・集約化、②水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施、③輸出力強化と高付加価値化、といった取組みを進める。31年度予算では、特に、水産改革を実現するための予算に重点化。

【主な内容】

※()内は30年度当初予算比

水産改革

- ・水産資源調査・評価の充実 55億円 (+23億円)
- ・高性能漁船導入による実証事業 51億円 (+3億円)
- ・漁船、漁具等のリース事業 100億円【新規】
- ・水産バリューチェーンの構築 14億円 (+5億円)

※平成30年度補正予算とあわせて3,045億円 (+718億円) を措置

強い農業のための基盤づくりと農地の集積・集約化

- ・農業農村整備事業関係 4,418億円 (+69億円)
※平成30年度補正予算とあわせて5,905億円 (+105億円) を措置
- ・強い農業・担い手づくり総合支援 230億円【新規】
- ・スマート農業の技術開発・実証 31億円 (+14億円)
- ・農地の集積・集約化の推進 168億円 (▲24億円)
－協力金の対象を農地の出し手から農地の受け手に重点化

水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施

- ・水田活用の直接支払交付金 3,215億円 (▲89億円)
－野菜など高収益作物への転換を促進する仕組みを導入
- ・収入保険制度の実施 206億円 (▲54億円)

輸出力強化と高付加価値化

- ・海外需要創出等支援と輸出環境整備 40億円 (▲0億円)
- ・グローバル産地の形成支援 2億円【新規】
- ・GI（地理的表示）の活用・保護強化 2億円 (▲0億円)

○防災・減災、国土強靱化（臨時・特別の措置）

1,207億円

- ・農業水利施設の緊急対策
 - ・ため池の改修、統廃合等
 - ・治山施設の設置等
- 〔農業農村整備事業〕
511億円の内数【新規】